

	努力点	具体的な方策
命を大切に 好ましい人間 関係をつくる	<b>1 安全・安心環境づくりと安全指導の充実</b>	
	(1) 安全点検の充実	1 職員による時間を揃えた安全点検の実施(第1週) 2 定期的かつ確実な安全点検と施設・設備の改善
	(2) K Y Tの充実	1 定期的なK Y T活動の実施(毎月第1水曜日) 2 児童の危険予知・回避能力の向上(危険箇所アンケート・K Y T授業) 3 「安全と命の大切さを考える日」の実施(10月1日) 4 登下校指導の実施(毎学期初 S Gとの連携 不審者対応) 5 登校時間の設定(7:30~8:00)
	(3) 防災教育の充実	1 各種避難訓練の計画的実施(原子力防災・地震・風水害・不審者対応等) 2 水防災学習の確実な実施(5年生 川内川河川事務所の資料活用) 3 命に関する作品展等への積極的な応募
	<b>2 基本的な生活習慣と心の教育の推進</b>	
	(1) 基本的な生活習慣の育成	1 あいさつ指導の徹底(元気のよいあいさつ・会釈 年間を通じた指導) 2 正しい言葉遣いへの指導の徹底(場に応じた声の大きさ・さん付け等) 3 正しい服装・忘れ物0へ向けた指導 4 清掃指導の徹底(時間いっぱい・清掃区域、清掃内容徹底) 5 緑化活動の充実
	(2) 心の教育の推進	1 学校行事の実施と改善(自己肯定感の向上のための指導) 2 学級活動や児童会活動の充実(仲間作り、縦割り活動等) 3 心の教育推進委員会の実施(定期的な情報提供、共通理解と共通実践)
	(3) いじめ・不登校0に向けた実践	1 学校いじめ防止基本方針に基づいた実践(いじめ問題を考える日・週間、いじめ実態調査、全校態勢でのいじめ解消へ向けた実践、情報モラル指導) 2 家庭訪問と計画的な教育相談の充実(全児童・保護者対象) 3 関係機関との連携(中学校、町教委、SSW、SC、子供支援課、警察、さつまルーム、児童相談所、療育施設等)
	<b>3 読書指導の充実</b>	
	(1) 読書指導の工夫改善	1 読書の質と量の確保(学年に応じた読書数、町「さつま読書のすすめ」等) 2 「奥書の日」の設定(毎週水曜日) 3 読書タイムの充実(親子読書グループ等)
(2) 学校図書館	保護者への啓発活動(としよかんだより等)	
豊かな心を 育てる	<b>1 一人一人の教育的ニーズにあった特別支援教育の推進</b>	
	(1) 特別支援教育の一層充実	1 特別支援学級での個に応じた指導・支援 2 交流学級での交流・協同学習の活性化 3 特別支援教育支援員の支援充実
	(2) 特別支援教育推進委員会の充実	1 特別支援教育コーディネーターを中心とした情報提供、共通理解、体制 2 合理的配慮及び積極的な就学・入級指導(就学教育相談の充実) 3 引き継ぎの充実(個別の教育支援計画・個別の指導計画)
	<b>2 人権感覚を高める人権同和教育の推進</b>	
	(1) 全校体制での積極的人権教育の推進	1 児童支援加配を中心とした実践(職員研修 人権同和教育推進委員会等) 2 全校体制での実践(「Mom」の姿勢で寄り添う人権教育・人権月間・人権教室・人権集会等)
	(2) 同和教育の充実	1 直接教材の指導の充実(6年 社会科) 2 補充学習会の実施(全校体制 各学年で分担)
	<b>3 自己肯定感を高める取組の充実</b>	
	(1) 体験させる機会の確保	1 長所や進歩、頑張り等、自分への肯定的な気付きの促進 2 自分を見つめる場や機会を設定
	(2) 仲間作りの工夫	1 集団活動の中で個に応じた役割を設定 2 他者とかかわる中で、自分のよさに気付かせる
	よく考え 表現する児童 を育てる	<b>1 毎日の授業の充実</b>
(1) さつまとの3構えの実践		1 身構え(学習中の姿勢、発表・聞く姿勢・服装の徹底) 2 心構え(授業に対する意識、準備の徹底、ノート指導) 3 物構え(机上の学習用具の準備・忘れ物0)
(2) 目標の明確化 ※ 主体的な学び		1 問題意識を引き出す場の充実(問題意識の高揚を図る) 2 学習意欲を高めるめあての設定(自ら考えることができる なぞ00なのだろうかな等) 3 見通しをもつ場の充実(予想と解決方法、全員で共通理解、ボード活用等)
(3) 児童が主役と なる学び ※ 対話的な学び		1 問題解決[協働的な学び]の場の充実(自分で調べ、考え、表現する) 2 学習形態の充実(少人数、TT、習熟度、コース別、学年単位コース別等) 3 体験的な活動(操作活動、観察・実験、プレゼン等) 4 教材・教具の工夫(国語辞書、具体物、ヒントカード、ワークシート、隠等) 5 I C T(PC、デジタル教科書、電子黒板、書画カメラ、タブレット等) 6 考える場の設定(比較・関係付け・類推・推論等による思考、表現等) 7 児童の思考を整理する発問(児童に考えさせる発問) 8 構造的な板書(順序性と関係性を意識、矢印と色分け等)
(4) 確実な定着 ※ 深い学び		1 めあてとまとめの整合性(目標→まとめ→めあての順での教材研究等) 2 見届けと個別指導(振り返り、定着の確認、タブレット活用、個別指導等)
<b>2 生きて働く知識・技能の習得</b>		
(1) 各種調査等の活用		1 全国学力学習状況調査、鹿児島学習定着度調査等の実態把握と過去問活用 2 N R T・C R Tからの実態把握と指導への活用
(2) 県・町等の施策活用		1 鹿児島チャレンジの有効活用 2 鹿児島学力向上支援W e bシステムの活用